

# 平成28年度 第1回 仙台市廃棄物対策審議会

## 議事要旨

日時：平成28年7月27日(水) 14:00～16:00

場所：仙台市役所本庁舎第二委員会室

### I 次 第

#### 1. 開 会

#### 2. 議事等

- (1) 平成27年度のごみ排出量等について
- (2) 平成28年度のごみ減量・分別について
- (3) 事業ごみ等処分費用の負担のあり方について
- (4) その他

#### 3. 閉会

II 出席委員数 出席 15名（うち代理出席 2名（佐藤(宏)委員及び中村委員)）  
欠席 5名  
（泉委員，門田委員，庄子委員，中野委員及び松八重委員）

### Ⅲ 議事要旨

<p>議長（吉岡会長）</p> <p>ごみ減量推進課長</p>	<p>議題に入る前に、進行に際し事務局から確認事項等はあるか。</p> <p>本審議会の運営に関し、二点をご確認いただきたい。          一点目は、会議の公開についてである。本審議会は公開を原則としており、本日の議事について非公開とする理由はないと思われるため、原則どおり公開としたいがいかがか。          また、二点目は議事録についてである。本審議会の運営要領により、議事録には、会長と会長が指名する委員1名が署名することとしており、議事録の署名委員を選出する必要がある。なお、会議を公開とした場合には、議事録も公開となることを申し添える。</p>
<p>議長（吉岡会長）</p>	<p>まず一点目について、会議を公開としてよろしいか。</p> <p>（委員より、異議なしの声。）</p>
<p>議長（吉岡会長）</p>	<p>それでは公開とする。</p>
<p>議長（吉岡会長）</p>	<p>次に二点目について、署名委員については名簿順に選出してよろしいか。なお、前回の署名委員は鈴木委員であったため、今回は橋本委員に依頼してよろしいか。</p> <p>（橋本啓一委員より了承の返答あり。他の委員から異議なしの声。）</p>
<p>議長（吉岡会長）</p>	<p>橋本委員には、後日、署名をお願いする。</p>
<p>議長（吉岡会長）</p>	<p>それでは次第に沿って審議を進める。活発かつ円滑な審議をお願いする。          はじめに、議事の(1)「平成27年度のごみ排出量等について」及び(2)「平成28年度のごみ減量・分別について」、事務局より資料1及び2に基づいて説明をお願いする。</p>
<p>ごみ減量推進課長</p>	<p>【資料1, 2について説明】</p>
<p>議長（吉岡会長）</p>	<p>委員の皆様よりご意見等はあるか。          ところで、ワケアップキャンパスの参加状況はどのようなものか。</p>
<p>ごみ減量推進課長</p>	<p>大学生によるプロジェクトチームであるワケアップキャンパスについては、6大学より9名の学生が参加している。参加大学は、尚絅学院大学、東北学院大学、東北工業大学、東北福祉大学、宮城教育大学及び宮城大学である。</p>
<p>議長（吉岡会長）</p>	<p>東北大学でも学生に参加を呼び掛けたい。</p>
<p>ごみ減量推進課長</p>	<p>学生が中心となり大学に様々な働きかけも検討しており、その際にもぜひご協力いただきたい。</p>
<p>佐藤貞子委員</p>	<p>秋に開催される大学祭でも啓発を行ってはどうか。</p>

ごみ減量推進課長	<p>ワケアップキャンパスのメンバーとではないが、昨年度は大学祭で啓発活動を行った。今年度も引き続き行いたい。</p>
廃棄物事業部長	<p>ワケアップキャンパス以外の大学との連携として、東北や首都圏などの出身者が多い東北医科薬科大学の1年生のオリエンテーションに市長が出席し、仙台市のごみの分別方法について説明を行った。また、東北大学経済学部の学生が所属するゼミナール協議会で、約60名を対象とした講座を開いた。</p> <p>学生に対しては、まずはごみの問題について興味関心を持ってもらうことが重要だ。ワケアップキャンパスは、同年代の学生から同じ目線で情報を発信することができ、効果的な手法の一つだと考える。</p>
橋本啓一委員	<p>基本計画に基づき、今年度は特に若年層、集合住宅への居住者及び短期居住者を対象に啓発に力を入れるということだが、それ以外の市民への対応についてはいかがか。</p>
ごみ減量推進課長	<p>春には、これまで啓発が行き届きにくい若年層等を対象にした取組みを行ったが、若年層だけがきちんと分別できればよいということではない。</p> <p>秋には職員が地域において、幅広い年齢層を対象にごみの減量について啓発することを検討している。</p>
橋本啓一委員	<p>大学だけでも相当数の学生がいるが、在仙大学だけではなく専門学校等も含めて啓発を進めてもらいたい。</p> <p>また、今年度の目標についてだが、今年度は改定した基本計画の初年度であり、目標も重要な意味を持つ。各目標はどのような考え方にに基づき算出されたのか。各目標とワケアップキャンペーンの施策はどのように関連しているのか。</p>
ごみ減量推進課長	<p>平成28年度目標のうち、一つ目の「1人1日当たりの家庭ごみ量470g/日以下」については、基本計画目標の、平成32年度までに「1人1日当たりの家庭ごみ量450g/日以下」から算出した。</p> <p>また、二つ目の「家庭ごみに混入する資源物の割合38%以下」については、本市で資源物の混入割合が最も少なかった平成21年度の混入率が38.8%であることから、目標達成に向けてまずは同水準を目指す目的で設定した。</p> <p>三つ目の「家庭ごみに混入する資源物のうち、紙類25%以下」についても、平成21年度と同水準を目指すことを目的としている。</p> <p>なお、各目標とキャンペーンの関連については、キャッチコピーを分別徹底の意味を込めた「WAKE UP(ワケアップ)！」としてキャンペーンを展開しているところである。</p> <p>具体的な取組みとしては、紙類の分別方法と排出先について情報提供を行うため、ごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」の運用や「せんだいリサイクル拠点ナビ」の作成を行っている。</p> <p>現在作成中の「せんだいリサイクル拠点ナビ」は、集合住宅にお住まいの方から、紙類をまとめて保管する場所がないため家庭ごみとして捨ててしまうという声等をもとに作成するものである。</p> <p>併せて、秋には5年ぶりに「資源とごみの分け方・出し方」の全戸配布を行う予定である。</p> <p>資料2に添付しているちらしは、6月初旬に各町内会に配布し回覧していただいた。表面ではワケアップキャンペーンの趣旨について説明し、裏面では紙類の分別方法の具体例を示し周知を図っている。</p>

橋本啓一委員	<p>横浜市でもごみ分別アプリを作成し、数千ダウンロードを達成している。アプリやメディアなどを活用して若年層を取り込むとともに、一過性のイベントにならないよう、継続的な啓発に取り組んでもらいたい。</p>
環境局長	<p>個々の取組みが同じ方向性を向くと、一層の効果を発揮できる。</p> <p>資料2の2(2)「地域での分別啓発活動」を皮切りに、他局の事業とも連携を図りながら、ワケアップあるいは市民協働によるごみ減量をキーワードに、年間を通して仙台市が全庁を挙げた取組みを実施しているということを発信してまいりたい。</p> <p>本日は詳細については控えさせていただくが、委員ご指摘の問題意識を我々も持ち取組みを進めている。</p>
橋本啓一委員	<p>期待しているので頑張ってもらいたい。</p>
議長 (吉岡会長)	<p>仙台市は、ワケルくんを用いたキャンペーンを継続的に実施し成果を得ている。震災後のごみ量増加により、分別強化に向けて新たにワケアップキャンペーンを展開しているが、こちらも継続して取り組んでもらいたい。</p>
木下牧子委員	<p>平成26年度から27年度にかけて、家庭ごみに占める紙類の混入率低下と同様にリサイクル量も減少している。リサイクル量のうち、紙類はどの程度の割合を占めているのか。</p>
環境局次長	<p>本市の紙類回収方法は、生活系では集団資源回収、定期回収及び拠点回収、事業系では許可業者や古紙回収業者による回収のほか、事業系紙類回収庫における回収が可能であり、複数の方法がある。</p> <p>平成27年度の回収量については、生活系で集団資源回収と定期回収の双方で回収量が減少し、事業系では大規模建築物・多量排出事業者から回収される紙類の量は微増となった一方、中小事業者から回収した量は約3,000トン減少した。したがって、リサイクル率が0.2%下がったという状況である。</p>
木下牧子委員	<p>平成27年度には家庭ごみに混入している紙類の割合は減少したが、紙類の回収量自体が減少しているのであれば、分別意識が向上したという事務局の見解は当てはまらないのではないか。</p>
環境局次長	<p>平成27年度は紙類の回収量のほか家庭ごみ量も減少している。混入する紙類が分別されたので家庭ごみ量が減ったのか、使用される紙類の量自体が減少しているのかについては精査の必要がある。</p>
木下牧子委員	<p>若年層がスマートフォンで漫画を閲覧するなど、ペーパーレス化が進んでいる。資源物の混入率低下自体は良い事だが、一概に分別意識が向上したからとは言えない。</p> <p>ところで、他市町村では分別区分が10以上の自治体もある。紙製容器包装の回収を行っているところもあるが、仙台市では将来的にその予定はないか。</p>
ごみ減量推進課長	<p>本市では、防水加工やアルミコーティングされている紙製容器については、製紙工場によってはリサイクルできないため対象外としている。紙類が回収され古紙問屋に集められた後、どの製紙工場に搬入するかは各問屋に委ねていることから、確実にリサイクル可能な紙類のみをリサイクルの対象としているため</p>

	<p>である。</p> <p>しかし、他都市の状況や製紙工場の技術導入等を考慮し、対応を検討していく必要があると認識している。</p>
議長（吉岡会長）	<p>紙使用量の動向については調査を行わなければ明らかにならない。個人的な見解だが、広告の増加等により使用量は増えているのではないか。</p> <p>また、製紙工場では何を出荷するかにより、引受可能な紙類の種類が異なる。自治体がどこまで分別するかは今後の検討課題である。</p>
久田真委員	<p>広報方法についてだが、市民等の協力によりどのような成果が得られたかを示すなど、モチベーションを上げる工夫が必要である。例えば、ごみの減量によりどれほどのCO<sub>2</sub>やコストを削減できたかなどを示してはどうか。</p>
廃棄物事業部長	<p>市民等のモチベーションに働きかける広報方法の重要性については認識している。例えば、千葉市では、焼却ごみ量を3分の1に減らしてごみ処理コストの削減を図ることを掲げたキャンペーンを実施していた。</p> <p>本市の基本計画では、CO<sub>2</sub>量低減など環境負荷を減らすことを掲げていることから、燃やすごみの量を減らすことで焼却時に排出されるCO<sub>2</sub>量を低減するなど、イメージしやすい広報指標について今後検討を進めてまいりたい。</p>
久田真委員	<p>分別についても同様である。分別に協力いただいたことで何トンの再生紙類を作ることができたなどを示すとよい。</p>
議長（吉岡会長）	<p>ごみ減量や分別の効果を、ごみ量やリサイクル率だけではなく、分かりやすい指標に転換して示していく必要がある。このような広報方法について今後検討を進めてもらいたい。</p> <p>それでは、他にご意見等はないようなので、議事(1)「平成27年度のごみ排出量等について」及び議事(2)「平成28年度のごみ減量・分別について」を終了する。</p> <p>続いて、議事(3)「事業ごみ等処分費用の負担のあり方について」に移る。事務局より資料3に基づき説明をお願いします。</p>
ごみ減量推進課長	<p><b>【資料3について説明】</b></p>
廃棄物管理課長	<p><b>【搬入ごみ展開検査について説明】</b></p>
議長（吉岡会長）	<p>委員の皆様よりご意見等はあるか。</p>
藤原直委員	<p>資料3の3を計算すると、各都市の処分原価には大きな開きがある。最低額は大阪で11.5円/kg、最高額はさいたま市で37.2円/kgである。なぜこの差が生じているのか。</p> <p>処分原価自体を下げられるならば、受益者負担率を上げられるので、一律に現在の負担率のみで比較することはできないのではないか。</p>
廃棄物事業部長	<p>各都市の処分原価の差は、計算に含まれている施設の状況等が各都市で異なることで生じている。</p> <p>また、負担率の差については、廃棄物処理法上、事業者は廃棄物を自らの責任で処理しなければならないとされているが、どこまで負担を求めるか各都市</p>

	<p>で考え方が異なることから生じている。加えて、手数料と改定してからの年数の経過によっても負担率に差は生じている。</p> <p>本日の資料では、本市の処分手数料の現状についてお示しする目的で、事務局で把握しているデータのうち比較可能なものを提示した。</p>
藤原直委員	<p>処分原価の差の内訳についても説明してもらいたい。</p>
環境局次長	<p>処分原価の差は、各都市の処理施設における設備や運営形態の違い等により生じる。本市の焼却施設は3つだが、大阪市には7つの焼却施設がある。また、建設年数の違いにより減価償却の時期が異なる。埋立処分場についても、残余年数によりコストが異なる。したがって、処分原価はこうした施設の状況等によって自治体で異なる。</p> <p>事業者の負担のあり方についても、基本的には受益者負担を前提としつつも、何割程度の負担が妥当であるかは各自治体の考え方による。</p> <p>さらに、国の方針として、処分手数料の見直しには食品リサイクルの推進という視点が必要になる。</p> <p>このような条件を整理しつつ、適正な処分手数料のあり方について検討を進める必要がある。</p>
藤原直委員	<p>焼却施設の建設コストや減価償却分を処分原価の一項目として計算に含めるならば、ごみ量が増加すれば処分原価は低くなるのではないかと。</p> <p>減価償却分も減少するため処分原価も一定ではないので、今後はコストダウンについても検討すべきではないかと。</p>
環境局長	<p>ごみの処分に係る費用は、ごみ量が減ると単価が高くなるという性質がある。これは、施設整備費等の原価償却分が中長期的にコスト計上される一方、短期の大幅なコストダウンが困難なためである。</p> <p>しかし、施設建替の際に施設規模の縮小や長寿命化等が達成されれば、中長期的なコストダウンは可能である。</p> <p>それには、人口の推移や経済活動の動向、ごみ減量施策などにより、本市のごみ量がどのように推移するかが鍵となる。基本計画の目標達成が大前提ではあるが、この先10年、20年のごみ量やリサイクル率の推移を見極めながら、適正な施設の規模や寿命のあり方を検討していく。コストダウンについては中長期的な検討を要する。</p>
議長（吉岡会長）	<p>ごみ量が増加すると処分原価の単価が下がるということだが、焼却施設の減価償却分という限界がある。また、反対にごみ量が増加すれば施設の増設が必要となり、処分原価が増加するという理解でよろしいか。</p>
環境局長	<p>おっしゃるとおりである。</p>
藤原直委員	<p>現在の焼却施設の能力はどの程度か。</p>
環境局次長	<p>市内に3つある焼却施設の処理能力は、公称では各600トン/日だが、ダイオキシン対策で処理能力が下がっていたり、オーバーホールで休炉したりするため、合計約40万トン/年ほどとなっている。</p> <p>ただし、基本計画に記載のとおり、施設の中には稼働が長期化しているものもあるので、今後の施設整備についてはその点も踏まえて検討したい。</p>

鈴木昇委員	<p>本市の負担率 43.5%について事務局はどのように考えているか。事務局で想定している金額があるならば提示いただきたい。</p>
環境局長	<p>議題として取り上げたのは、昨年度末に改定した基本計画で、処分手数料のあり方を見直すことが実施・検討すべき施策となっているためである。見直しとしては増額の方向性で検討を進める必要があると認識している。</p> <p>本日の審議会では、他都市との比較も含め本市の処分手数料の現状をお示しし、本日の審議結果を踏まえて今後たたき台となる金額を決定したいと考えている。</p>
鈴木昇委員	<p>市の負担軽減のため手数料の改定には必要性が認められるが、前回の改定時には複数年度に渡り段階施行を行っている。改定するなら一度に行う方がよいのではないか。</p>
環境局長	<p>過去の事業ごみの処分手数料の改定状況については、昭和 58 年の改正以降、政令指定都市への移行に向けた合併が行われ、しばらく見直しが行われなかったが、廃棄物対策審議会における審議を踏まえ平成 5 年に改定を行った。その時には、他都市の負担率の状況や物価の変動、施設整備費用の高騰等を考慮し負担のあり方を決定した。</p> <p>平成 12 年に改定した際には、手数料増加額は 300 円としたが、事業者の負担を考慮し二段階施行とした。当初、平成 13 年度と 14 年度の二年間で段階施行を行う予定であったが、審議会のご意見を踏まえ、二年連続の値上げを避けて平成 13 年度と 15 年度で施行した。</p>
海川一郎委員	<p>手数料の見直しについては了解したが、その分のコスト削減が無ければ、市民や事業者の理解は得られない。手数料を上げた分、サービスの拡充等、市の運営努力が必要である。</p>
議長（吉岡会長）	<p>改定による増額は仕方ないが、その分のサービス拡充が必要というご意見である。事務局はいかがか。</p>
廃棄物事業部長	<p>本市の財政状況が厳しさを増しているという状況はあるが、手数料の見直しは、一義的にはいかに事業系可燃ごみを減らすかだ。事業者に対し、当然市の努力も示す必要がある。</p> <p>先ほどもご審議のとおり、短期的なコストダウンは難しいが、分別やごみの減量にきちんと取り組む事業者にとって、ごみ処理に係る費用額が低くなるようなシナリオといったものも検討する必要があると考えている。</p> <p>また、サービスの拡充として、ごみの減量等についてのきめ細かな啓発や指導を考えている。そのほかのサービス拡充についても検討してまいりたい。</p>
環境局長	<p>費用負担のあり方について、手数料は受益者負担を原則とするが、現状の負担率は 43.5%と、残り 56.5%は税金により賄われている。</p> <p>今回の見直しは、一義的には事業系可燃ごみの減量が目的ではあるが、手数料の負担のあり方として、誰がどの程度費用を負担するのか、市民の税金でどの程度賄うのかについても議論を要する。</p> <p>サービス拡充という観点では、許可事業者任せではなく、職員も排出事業者への指導を行う必要がある。手数料水準の適正化を図りつつ、サービス向上に</p>

橋本啓一委員	つなげるという考え方で検討を進めたい。  平成 12 年度以降手数料水準を据え置き、なぜ今回のタイミングで見直しに踏み切ったのか。また、現在事務局で考えている適正な手数料や負担率とはどの程度か。
議長（吉岡会長）	本日の審議会で金額や負担率を提示することは可能か。
環境局次長	適正な金額や負担率については今後検討し、お示ししたい。
議長（吉岡会長）	適正な金額や負担率、サービス拡充の取組みについては、今後他都市とも比較しつつ検討してもらいたい。 前半のご質問についてはいかがか。
環境局次長	生活系・事業系それぞれの施策の充実を図りつつ、事業ごみで平成 12 年度に手数料を改定、生活ごみでは平成 20 年度に家庭ごみ等有料化を開始した。 平成 22 年度末に策定した基本計画では、現行の基本計画と同様に事業ごみ等処分手数料の見直しを実施・検討すべき施策に挙げたものの、東日本大震災の発生により、まずは復旧・復興を第一にということで、手数料見直しを見送ったという経緯がある。 平成 27 年度で本市震災復興計画の計画期間が終了し、ごみ量の高止まりが続いていることから、今回見直しに向けた検討を具体化するものである。
橋本啓一委員	単に他都市と比較し、金額等が低いという理由から見直しに踏み切るのではないという事は理解した。事業者の意見を聞きながら検討を進めてもらいたい。
議長（吉岡会長）	他にはいかがか。
久田真委員	手数料を上げるならばサービスを拡充すべきとのご意見があったが、どのような取組みが事業者にとってのサービス拡充になりうるのか。
海川一郎委員	単位の変更が考えられる。現在は 1,000 円/100kg と重量単位となっているが、10kg 単位や容量に変更することなどを検討してもらいたい。
久田真委員	手数料を上げるならば相応の説明が必要となる。手数料が上がれば、事業者はサービスの質を下げたり従業員の給与削減を行ったりしなければならなくなる。 反対に、極論ではあるが、収集回数を少なくするなどサービスの質を低下させ、その分のコストを下げた負担率を上げるという案もありうるのではないか。
廃棄物事業部長	手数料の仕組みについては、資料 3 の 2 ページ目の図をご覧ください。収集運搬は本市ではなく収集運搬許可業者が行っており、収集運搬のサービス内容や料金は事業者間の契約で決定される。 今回見直しを検討している処分手数料は、許可事業者や事業者が本市の処理施設にごみを持ち込む際に支払う、焼却などの処分にかかる費用である。 委員のご意見にあった単位の件については、許可事業者の可燃ごみ収集袋の大きさが 1 種類のみであり、そのことに本市も課題意識を持っているので、あ

	<p>り方について許可事業者とともに検討を深めたい。</p>
議長（吉岡会長）	<p>1,000 円/100kg の計量単位については、資料 3 の 4(4)の検討事項にもあるの      でご確認いただきたい。他にご意見等はないか。</p>
内田美穂副会長	<p>容積で金額を決定するというの面白い考え方である。      多くの場合、事業者は収集運搬を許可業者に依頼し、収集運搬手数料として      収集袋代を収めているということだが、重量と容積とのバランスは取れている      のか。</p>
ごみ減量推進課長	<p>概ねバランスは取れているが、事業者と許可業者の契約によっては、袋では      なく容量で金額を決定しているものもある。</p>
内田美穂副会長	<p>事業者にも納得してもらえよう検討を進めてもらいたい。</p>
議長（吉岡会長）	<p>費用負担のあり方については、引き続き事務局で検討を進めてもらいたい。      それでは、他にご意見はないようなので、議事(3)「事業ごみ等処分費用の      負担のあり方について」を終了するが、最後に事務局より、今後のスケジュー      ルについて説明をお願いします。</p>
廃棄物事業部長	<p>今後のスケジュールについてご説明する。      本日の審議内容を基に、事務局で手数料水準等の案をまとめ、10 月頃に第 2      回審議会を開催する。</p>
議長（吉岡会長）	<p>次回の審議会では、事務局案を基に検討を進めて行く。      続いて、議事(4)「その他」に移る。事務局より提案のあった、代理出席者      の取り扱い等についてご意見等はあるか。      委員及び事務局よりご意見等ないようなので、議事(4)「その他」を終了す      る。      それでは、事務局に進行をお返しする。審議の円滑な運営にご協力頂き感謝      申し上げます。</p>
司会	<p>以上により、閉会する。</p>